

箱根ドールハウスミュージアム 開館にむけてのご挨拶

実物の 12 分の 1 サイズのドールハウス。それはただ小さく縮小されたハウス、というだけではありません。調度品のひとつまで精巧に作られた、まさにヴィンテージなミニチュア世界。作者の思いや愛情、さらには歴史観などもこめられており、見る者の想像力、創造力を無限にかきたててくれます。16 世紀中期ドイツで誕生して以来、欧米では「クラフトの王様」と称され、いまでも多くの人々に愛好されています。

はじめ公立美術館での展覧会のため収集された当館のドールハウスは、各地で回を重ねるごとにコレクションも増加。かつて世界を代表といわれた米英の 2 大アンティークコレクション(代表的作品)をはじめ、すぐれた現代作家の作品までオーダーで発注するなどして、世界でも注目すべき内容を有するに至りました。

そこで、かねてよりの念願であった常設展示ができるミュージアムとして、箱根の温泉発祥の地として知られる芦の湯地区にある旧フラワーセンターをリニューアル。来年 2016 年 4 月頃を目標に「箱根ドールハウスミュージアム」として開館することになりました。

16 世紀中頃、もともとドイツ貴族の子どもの教育玩具として誕生したドールハウスは、子どもたちの情操はもちろん大人の知的感性、好奇心を育み、あるときは心を癒すクラフトとして発展。欧米では「クラフトの王さま」と称されるまでになり、多くの人々に愛好されてきました。世界的にも、エジプトやロシアウクライナ地方でドールハウスの原形のようなものが見受けられ、わが国でも「雛(ひいな)遊び」として源氏物語などにミニチュアを愛好する記述が見られます。

そんなドールハウスの不思議かつ多様な魅力を、ドールズハウスジャパン(代表・新美康明)ではこれまでの数々の展示経験を通して集大成。「見て遊び、学んで作り、集めて旅をする」といったおよそ 6 つの楽しみ方に分類。さらに歴史教育のツールとして当ミュージアムにてさまざまな分野に展開する所存です。

またミュージアム自身も、開館する前も開館してからも、皆様とともにあれやこれや想像力と創造力を駆使し、手を加え改善していく、まさに参加型のミュージアムとして運営していきたいと願っております。

そのご参加方法には、いくつかのスタイルがございます。皆様のお考えアプローチの仕方にあわせてご参加下さいましたら、なにより幸いに存じます。

箱根ドールハウスミュージアム (代表/新美康明)

運営主体/ドールズハウスジャパン

ドールズハウスジャパンならびに箱根ドールハウスミュージアム(〒250-0523 神奈川県足柄下郡箱根町芦之湯 84-55 Tel: /Fax: /HP:)は、以下の目的を掲げ設立され、諸々の活動を展開致します。

目 的

- ① ドールハウスの普及(主に常設展示、巡回展示)。
- ② ドールハウスの教育的ツールとしての研究・展示、教材の開発・普及。
ミュージアムグッズの開発・展示販売。ワークショップ、講演会などの企画実施。
- ③ 歴史的建造物、歴史風俗、伝統文化・美術などをドールハウスに再現。
ミニチュアの世界の可能性をより大きく魅力あるものにする。
- ④ ドールハウスの歴史研究(学芸活動)
- ⑤ ドールハウス作家の支援
- ⑥ ドールハウスに関連してミニチュア全般が有する魅力～可能性をコラボするなど、開発・紹介する。
- ⑦ 得られた収益は、主に①～⑥の目的を遂行するための手段として社会還元する＝公益還元施設(運営にかかわるすべての人々・地域社会・地球全体に社会貢献する施設)



活動事項

- ・ 箱根ドールハウスミュージアムの設立・運営
- ・ ドールハウスフェア・イベントの開催(年に2回～)
- ・ 現代作家の作品展示・販売・ワークショップ
- ・ ドールハウスのミュージアムグッズの企画・制作販売(箱根の木工産業と連携)
- ・ 教育玩具としてのドールハウスのキットの開発・販売
- ・ ドールハウス作家作品の海外交流(講師の招聘、展示販売の交流、ワークショップ開催、海外視察研修旅行など)
- ・ 友の会の運営(季刊紙や SNS における情報発信。会員の交流会・勉強会の実施など)
- ・ アーティストの育成
- ・ ドールハウスの学芸活動

※ なお、箱根ドールハウスミュージアムの庭園は、箱根に自生する植物を主とする野草園とする(自然と共生する英国式)。またその中でさまざまなコンサートや舞踊などの文化イベントの講演など企画する。

箱根ドールハウスミュージアムの支援組織

- ・ ドールズハウスジャパン／ミュージアムの運営団体
- ・ ドールハウス協会／作品制作、修復。展示販売。フェアの開催など
- ・ 牧神画廊／巡回展の企画・展示
- ・ 株式会社ピエロタ／運営資金の調達
- ・ pboxx／コンサートなど
- ・ ピッコリーノ学園(保育園・幼保園・学童保育)／親子のサマースクール・ワークショップ運営協議・ボランティアへの参加など
- ・ 友の会／ドールハウスジャパンの目的遂行のための支援活動
- ・ 箱根町観光課 芦之湯地区自治会／観光宣伝・地域再生・創生プログラムの立案・実施
- ・ 平賀敬美術館／観光宣伝の連携
- ・ 日本感性教育学会／教育プログラムの開発の連携など

館長／新美康明 プロフィール

画廊経営および美術展プロデューサーとして主に公立美術館、デパート等にて 30 有余年の実績。国際児童画展など児童画の審査員、公立美術館長、文科省学習指導要領作成者、文科省特選教育映画の編集、日本感性教育学会常任理事、ピッコリーノ学園学園長など歴任。現在、青山学院大学総合文化政策部では「地域再生論」、「文化のカラボ」非常勤講師。長野オリンピック・パラリンピックの公式ポスターのプロデュース。協同組合美術商交友会、日本旅行作家協会など会員。

箱根ドールハウスミュージアム 開館およびその後のスケジュール

10 月 宿直室の改築

11 月 館内清掃、床面コンクリート打ち、トイレ改装、屋根雨漏り改修、電気設備改修、オフィス可動化、看板作成

～12 月 床面仕上りの後、ドールズハウス展示作品搬入。配置等確認作業と同時に展示汁器等設置工事、厨房設備設置、テーブル椅子発注

1 月～3 月 キャプション作成

なお 12 月～1 月 3 日にかけて日本テレビ箱根駅伝の放映に施設協力

HDM（箱根ドールハウスミュージアム）支援プログラム

- ・ 友の会／年 5000 円。会員証バッヂの発行。季刊紙の送付。
特典:会員証提示で初回入館無料。以降入館料 30%OFF、同行者も 10%OFF
- ・ クラウドファウンディング／一ロ一万円～から。年間パスポートの支給。同行者 20%OFF。会員情報紙(季刊紙)の送付。
- ・ ボランティアの会／館内外の清掃、庭園づくり、イベントの企画実施など(※その時々の特典あり)